



ぼんじゅモルック

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・ニュースポーツの楽しさを味わうことができます。
- ・ルールを守り、グループで活動することで交流を深めることができます。

【教科への対応】 小学校：体育など 中学校：保健体育など

【組合せ可能な活動プログラム】 梵珠ディスクゴルフ、虫取り遊び、ザリガニ釣りなど

2 活動の概要

モルックという棒を投げて、スキttlという12本のターゲットを倒しながら、50点ちょうどにするゲームです。仲間と協力し、どうすれば50点ちょうどになるかを考えながら進める楽しいゲームです。



<用具一式>

- (1)人数 80人以内
- (2)対象 小学校5年生～中学生・高校生
- (3)期間 4月下旬～11月上旬
- (4)時間 1.5～2時間（説明15分＋活動75～105分）
- (5)場所 キャンプ場、営火場他
- (6)経費 無料
- (7)指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

3 準備物

団体	救急薬品
個人	帽子、汗ふきタオル、運動しやすい服装、飲み物（水分補給用）
自然の家	鉛筆、スコアシート、ルール等説明シート、クリップボード、モルック用具一式 スズメバチ用殺虫剤

4 引率者の役割分担

役割名	内容
代表責任者	1名。責任者として全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。 また、得点の集計や微妙な状況での得点判断を行う（審判的役割）。



<活動の様子1>



<活動の様子2>

5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備	<p>○ルール、安全管理について説明</p> <p>○鉛筆、スコアシート、ルール等説明シート、クリップボード、用具一式の貸出・配付</p> <p>※対戦チームや活動時間の指示等は引率者側で行う。</p>
活 動	<p>① 活動場所へ移動し、用具の配置を行う。</p> <p>② 先攻・後攻を決めてゲームを開始する。</p> <p>※投げる順番や記録系の順番など、必要な役割を決める。</p> <p>※倒れたスキttlを立てる役割は相手チームが行う。</p> <p>※投げ方の練習などを行う時間を設定する。</p> <div data-bbox="384 600 1422 1303" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">02 モルックとは？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">How to Play!</p> <p style="text-align: center;">1</p> <p>ゲームスタート時の配置です。</p> <p>3~4mあける JMA主催のゲームでは、 3.5mを基準としています。</p> <p>2チーム以上で対戦します。 投擲順を決め、順番にモルックを 投げてスキttlを倒します。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">How to Play!</p> <p style="text-align: center;">2</p> <p>倒した本数によって 点数が決まります。</p> <p>4点</p> <p>◆ 複数本の場合→倒れた本数が点数 ◆ 1本の場合→書かれた数字が点数</p> <p>11点</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">How to Play!</p> <p style="text-align: center;">3</p> <p>スキttlは、 倒された地点で再び立てます。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 完全にスキttlが倒れないと 点数はカウントされません。 ● 50点を超えた場合は、 25点に戻ります。 ● 3回連続ミスすると0点になり、 失格となります。 </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">2 3 を繰り返し、先に 50点ぴったり になるまで得点した方が勝ち！</p> </div> <p>③ ゲームが終了したら、次の対戦相手とゲームを行う（引率者の指示による）。</p> <p>※時間がない場合は、その時点で50点に近いチームの勝ちとする（梵珠ルール）。</p>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> • スコアシートの回収、集計、順位の発表 • ふりかえり • 借用物品を返却

6 実施上の留意点

- ルールについて把握しておく。
- 競技するスペースを十分に確保し、隣接している競技者の安全に十分注意する。
- 簡素化した実施方法もある。詳細は職員に問い合わせる。

7 安全に実施するためのポイント

- ストレッチなど準備運動をしてから行う。
- 熱中症対策として、水分補給の時間を設定する。